

国際コミュニケーションコースの卒業生が来校しました。

6月20日(水)、本校国際コミュニケーションコース卒業生で、国連のOCHA(United Nations - Office for the coordination of humanitarian affairs)で勤務されている木村真紀葉さんが来校されました。

木村さんは、アフリカのチャドでHumanitarian Affairs Officerとして勤務されていましたが、異動で来月からエチオピアのソマリ地方で勤務予定とのことです。現在は次の勤務までの間の休めで、日本に一時帰国されていて、忙しいにもかかわらず本校に来てくださいました。

本校の国際コミュニケーションコース2年生は10月に修学旅行でフランスのコルマルとスイスのジュネーブを訪れる予定で、ジュネーブでは国連欧州本部などの国際機関を訪問する予定です。その時期に木村さんはエチオピアで勤務されているのでジュネーブではお会いできませんが、元上司や日本人の国連スタッフから話を聞く機会をアレンジしていただけることになりました。

また、7月4日(水)には国際理解講演会として、国際コミュニケーションコース2年生に話をしていただけることになりました。

また、今年東京大学理科一類に入学した平田駿輔くんもちょうど来校していて、一緒に話をしました。

平田くんは東京大学のFLY programで1年間休学しアジアを中心に世界各国をまわり、ボランティア活動や国際交流をしながら見聞を深める予定です。アフリカにも行く可能性があるようで、話に加わりました。

※FLY programは、入学した直後の学部学生が自ら申請して1年間の特別休学期間を取得したうえで、自らの選択に基づき東京大学以外の場において、ボランティア活動や就業体験活動、国際交流活動など長期間にわたる社会体験活動を行い、そのことを通じて自らを成長させる自己教育のための仕組みです。



写真は左から、平田くん、平岡（2年国際副担任）、木村さん、日浦校長